

第4次佐倉市総合計画

「基本構想」「前期基本計画」(素案)が

まとまりました!

基本構想・基本計画・実施計画からなる「総合計画」は、市の目指すべき都市像の実現に向けたまちづくりの方向性を示す大切な計画です。その根幹をなす「基本構想」と「前期基本計画」について検討を進めています。



総合計画を作るにあたって

これまで佐倉市では、目指すべき将来の都市像を描くため、昭和49年度から58年度を計画期間とする第1次佐倉市総合計画(以下、総合計画)、昭和59年度から平成12年度を計画期間とする第2次総合計画を策定してきました。

これに続き、平成13年度から平成22年度を計画期間とする第3次総合計画においては、将来都市像を「歴史・自然文化のまち」としました。豊かな自然や歴史・文化に育まれてきた本市は、21世紀初頭における社会経済の著しい変化に対応しながら、佐倉らしさを大切に、また、都市としての自立性を高めるとともに、市民一人ひとりが心豊かに、いきいきと暮らせる活力に満ちたまちを目指しています。

第3次総合計画期間中に、日本の総人口が減少し、少子高齢化が、社会、経済、地方行政、市民生活などに影響を及ぼしはじめました。また、環境問題、

暮らしの安全・安心、市民参画に対する市民意識が高まり、早急な地域経済や行財政運営の再構築などが強く求められています。

そのため、本市が、今後50年、100年と歩み続けていくための長期的なビジョンとして、平成23年度(2011年度)から平成32年度(2020年度)を計画期間とする第4次総合計画を策定します。

多くの声を反映するために

「第4次総合計画」は、平成23年から10年間を計画期間とする長期計画であることから、多くの市民の皆さまの声を取り入れられるようさまざまな取り組みを行っています。

平成20年度には「佐倉市総合計画策定基礎調査」と「市民意識調査」を実施しました。

平成21年度には、市民の皆さまを対象とした「まちづくり懇談会」や、市内団体との意見交換会を開

催したほか、インターネットやご意見箱などでもご意見をいただきました。

基本構想の策定に向けて

これらのご意見をもとに、市では庁内に策定本部を設置して検討を進めるとともに、今年3月から総合計画審議会(市民公募委員、学識経験者で構成)により審議を重ねてきました。

そして、総合計画審議会から市へ提出された答申書に基づいて、基本構想(素案)を作成しました。

今後の主要課題として

現在の本市を見たとき、次のような課題が考えられ、適切に対応することが求められています。

- ①人口減少、少子高齢化への対応
- ②歴史、伝統の継承と活用
- ③豊かな自然環境の保全と活用
- ④芸術・文化の創出
- ⑤安心して暮らせるまちづくり
- ⑥地域産業の発展、交通網の充実、近隣市町村との連携強化
- ⑦財政基盤の強化
- ⑧市民協働によるまちづくりの推進

これからの10年間のため

平成20年度に実施した「佐倉市総合計画策定基礎調査」の報告書において推計した人口に、平成22年度における数値を推計値から実績値に修正し、外国人登録者を加算して推計したところ、本市の総人口は、平成32年には、約6000人減少する見通しです。

人口の減少は、市の活力そのものを減退させる要因となることから、本市が、今後50年、100年と歩み続けていくためには、人口減少という初めての経験を迎えるこの10年間を、新しいチャレンジを行っていく重要な転換期間と考えます。

特に、本市が持つ「歴史・自然文化」という強みを生かして、次の世代へバトンタッチをするために何をなすべきかを考え、現在の人口を減少させない施策を進めていく必要があります。

本市では、「これからの10年」のために、①定住人口の維持 ②交流人口の増加 ③選ばれるまちづくりを進め、将来への基盤づくりとします。

佐倉市の将来都市像は...

歴史・自然文化のまち

「佐倉」への思いをかたちに

本市は、古代から連綿と続く「歴史」、水、緑、花、生きものに代表される「自然」、長い時の流れに育まれた「文化」という佐倉を語るに最もふさわしい大切な資源を持っています。このことから、第4次総合計画の将来都市像は、第3次総合計画と同じキーワードである「歴史・自然文化」を引き続き使うこととしました。

「歴史・自然文化」という、長い年月にわたり積み重ねてきた資源を、次世代に誇りを持って引き継ぐという重要な責務を果たすためには、佐倉を大切にしていきたいという気持ち、佐倉に住み続けたいという愛着、佐倉をさらにすばらしいまちにしていきたいという意欲など、市民一人ひとりの「佐倉への思い」が必要になります。

この「佐倉への思い」を一つひとつ「かたち」にかえていくことが、すべての人に優しいまちづくりにつながることに、人々の共感を得ることで、まちの求心力が高まり、市全体の活力を創出するまちづくりにつながります。

これからの10年間は、人口減少、少子高齢化などに伴う人口構成の変化、社会経済の状況などから財政的に厳しい時代を迎えることとなります。これを逆にチャンスへの転換期間として捉え、佐倉独自の「歴史・自然文化」を明日へつなげるという強い気持ちをこめて、将来都市像を「歴史・自然文化のまち」「佐倉」への思いをかたちに」としました。

11月2日(火)〜16日(火)まで  
パブリックコメントを公募します

「基本構想」「前期基本計画」(素案)について、市ホームページによりパブリックコメント(市民意見公募)を行います。ぜひ、皆さまのご意見をお寄せください。

※1面下段で、パブリックコメントの方法を掲載していますので、どうぞご覧ください。

企画政策課 ☎(484) 3374



井野小学校の「土器づくり」体験授業  
学校には井野長割遺跡が隣接。地域の歴史を授業で学び、佐倉への愛着もアップ!